周術期等の出血性・血栓性リスク管理において休止を考慮する医薬品と推奨休薬期間

	一般名	商品名	術前休薬期間		
抗凝固薬	**アピキサバン**	エリキュース	出血低リスク†1⇒1日 出血中～高リスク†2⇒2日		
	エドキサバン	リクシアナ	1日		
	ダビガトラン	プラザキサ	Ccr	出血ﾘｽｸ(Standard)	出血ﾘｽｸ(High)†3
			＞50	1日	2～4日
			≦50	2日	4日
	リバーロキサバン	イグザレルト	1日		
	ワルファリン	ワーファリン	3～5日		
抗血小板薬	**アスピリン**	アスファネート、キャブピリン、コンプラビン、タケルダ、ニトギス、バイアスピリン、バッサミン、バファリン、ファモター、ロレアス	7～14日		
	イコサペント酸エチル	エパデール、エパロース、ソルミラン	7日		
	オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ	7日		
	クロピドグレル	コンプラビン、プラビックス、ロレアス	7～14日		
	サルポグレラート	アンプラーグ	1日		
	シロスタゾール	コートリズム、シロスレット、シロナミン、プレタール、プレトモール	3日		
	チカグレロル	ブリリンタ	5日		
	チクロピジン	パナルジン	7～14日		
	プラスグレル	エフィエント	14日		
	ベラプロスト	ケアロード、ドルナー、プロサイリン、ベラサス	1日		
抗血小板作用を有する薬剤	イフェンプロジル	セロクラール	1～2日		
	ジピリダモール	ペルサンチン	1～2日		
	ジラゼプ	コメリアンコーワ	2～3日		
	ニセリトロール	ペリシット	1日		
	リマプロスト	オパルモン、プロレナール	1日		
SERM・EE製剤	バゼドキシフェン	ビビアント	3日		
	ラロキシフェン	エビスタ	3日		
	エチニルエストラジオール（EE）製剤	アンジュ、ジェミーナ、シンフェーズ、トリキュラー、ドロエチ、ファボワール、フリウェル、マーベロン、ヤーズ、ラベルフィーユ、ルナベル	28日		

†1：出血低リスク：内視鏡的生検、前立腺、膀胱の生検、電気生理学的検査または高周波カテーテルアブレーション（複雑な処置を除く、下記参照）、非冠動脈の血管造影、ペースメーカー・ICDの植え込み術（先天性心疾患のような複雑な解剖学的な状態がない場合）

†2：出血高リスク：左側の複雑なアブレーション（肺静脈隔離術、心室頻脈）、複雑な内視鏡検査（ポリペクトミー、括約筋切開を伴うERCPなど）、脊髄麻酔、硬膜外麻酔、腰椎穿刺（診断目的）、胸部手術、腹部手術、整形外科の大手術、肝生検、経尿道的前立腺切除術、腎生検、体外衝撃波結石破砕治療

†3：出血リスク（High）：完全な止血機能を要する大手術（例：心臓外科手術、脳外科手術、腹部手術、重要臓器に関連する手術）、腰椎麻酔など。また、高齢、合併症、抗血小板剤の併用など出血リスクの高い患者の手術。

※休薬関連同意書（出血助長作用のある薬の中断・継続）の対象となる医薬品は、上記一般名において下線の付いた医薬品です。

※当表の休薬期間はあくまで目安です。適宜、各種ガイドラインを参照する等、患者個々に対して適切な対応をお願い致します。

※コンプラビン、ロレアス：アスピリンとクロピドグレルの配合剤です。

全身麻酔手術におけるSGLT2阻害薬及びビグアナイド薬の推奨休薬期間

	一般名	商品名	休薬期間
SGLT2阻害薬	イプラグリフロジン	スーグラ、スージャヌ	術前後3日
	エンパグリフロジン	ジャディアンス、トラディアンス	
	カナグリフロジン	カナグル、カナリア	
	ダパグリフロジン	フォシーガ	
	トホグリフロジン	デベルザ	
	ルセオグリフロジン	ルセフィ	
ビグアナイド薬	ブホルミン	ジベトス	術前後3日
	メトホルミン	イニシンク、エクメット、グリコラン、メタクト、メトアナ、メトグルコ	

※休薬の理由：
SGLT２阻害薬→周術期におけるストレスや絶食により、ケトアシドーシスが起きてしまう可能性があるためです。
ビグアナイド薬→乳酸アシドーシスを起こす可能性があるためです。また、飲食物の摂取が制限される外科手術では投与禁忌です。

※緊急手術の場合はその限りではありません。

※術前3日休薬できず、手術翌日以降も禁食の場合、SGLT2阻害薬であれば尿ケトン、ビグアナイド薬であれば血液ガス（静脈）を手術翌日に測定し、次に該当する際は、当該診療科に連絡して下さい。 ・尿ケトン→２＋ ・血液ガス（静脈）→アシドーシス

※術後3日の休薬の後、食事を充分に摂取できるまで休薬をお願い致します。

※ビグアナイド薬は、国や施設によっては造影剤使用前後２日休薬であったり、日本医師会資料においては手術前後２日休薬ですが、造影検査と全身麻酔手術とでは乳酸アシドーシスのリスクが異なることや、本剤とSGLT2阻害薬の休薬期間を統一することで管理を簡素化するといった理由で、ビグアナイド薬も手術前後３日休薬を推奨することとしました。

2022年10月3日改訂【第4版】

済生会横浜市東部病院 患者支援センター作成 医療安全管理室・薬剤部監修